

# 児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

◎評価実施時期…令和3年12月22日、無記名で回収

◎対象…常勤職員15名 / 短時間職員5名

事業所 桂堂学園

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	気付いた点	課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	19	1		利用場所を複数にし分散している	園児数に対して十分なスペースを確保しており、今後も活動に応じて指導室を有効に活用していく
	2	職員の配置数は適切であるか	15	4		時に不足を感じる時がある	職員定数は満たしており、指定休の人数も偏りのないよう考慮している 突発の欠勤や有給休暇、研修会参加の際にも人員に余裕があるように採用を予定している。
	3	生活空間は、園児にわかりやすく構造化された環境になっているか。	19	1		ホーム内の環境は見直し、改善を繰り返した方がよい	
	4	施設の設定は、事故防止や飛び出し防止などの配慮がなされているか	20				
	5	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境で、また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	16	3	1	サイクルを回しているとは思えない。特に「C」が足りない。	計画→実行→評価→改善の報告 PDCAサイクルを継続的に活用していく
	7	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	20				
	8	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか（ホームページに掲載済み）	19	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	2		第三者評価は実施しておらず、今後の予定もない
	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	19	1			
適切な支援の提供	11	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	20				
	12	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか（M-CHAT、遠城寺式、SM検査等）	19	1			
	13	児童発達支援計画には、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19	1		もっと、具体的で良いと思う。	
	14	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	2			
	15	活動プログラムの立案をチームで行っているか	19	1			
	16	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	17	2			
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	20				
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	19	1			
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	17	2	1	日によってできないことがあるので、できる時に振り返りをする	一日の振り返りをして、明日に繋げていく
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	18	2		徹底まではしていないので、今後しっかり行おうと思う	支援記録を徹底し、支援の改善と向上に努める
	21	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	20				

	チェック項目	はい	どちらとも 言いえない	いいえ	気付いた点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	22 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	20				
	23 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	20				
	24 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	20			情報交換は出来ているが、更に細かく行った方が良い	
	25 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	20				
	26 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	19	1			
	27 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17	3		保育園に行っていない子は、交流の機会がないのでは、と思う	こども園の園児が「乗馬体験」や「園外保育」で当施設を利用。児童科学館でも接点があった。散歩や園外療育でも地域の子ども達と交流できるように計画していく。
	28 （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	18	1	1		園長が施設を代表して「教育支援委員会」「三八地区特別支援連絡協議会」「八戸圏域障害者支援連絡協議会」「第二養護学校評議会」に出席している（令和3年度は合計16回）
	29 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	20				
	30 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	18	1	1	療育相談や面談を行っている。コロナが落ち着いたら、保護者が交流できる場を作りたい	今年度は、保護者対象の勉強会を4回実施した
	保護者への説明責任等	31 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	20			
32 児童発達支援のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		20				
33 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		20				
34 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		20			コロナ禍により、保護者会は開催できていない	
35 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		19	1			
36 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		20				
37 個人情報の取扱いに十分注意しているか			1			
38 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		20				
39 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		17	2	1	コロナ禍である為か、行事に地域住民を招待していないと思う	コロナ禍以前は、施設見学やえんぶり、成道会等に地域の住民を招待していたことから、運営の方向性は変わっていない

非常時等の対応	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	気付いた点	課題や改善すべき点	
	40	緊急時対応、防犯、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	20			緊急時対応については、詳しく全体で確認が必要だと思う (個人差がないように)	事業計画書にP17「園内での事故対応」P18「食物アレルギーの緊急時対応」を基本として、今後は訓練を実施していく
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	20				
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	20				
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	20			今年度、食物アレルギー対象児は無し	対象児が在籍した場合は、医師の指示書に基づいて代替食を提供する態勢である(実績あり)
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	20				
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	18	1	1		毎年、「虐待防止」に関する園内研修を開催し、家庭での虐待を察知、疑いがある場合は児童相談所へ情報提供している
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか(該当しない)						